

2-4 特殊性

特殊性についての注目種としては、H15年度の平取ダム調査（補足調査時）に、ダムサイト付近の崖地に分布する横抗において確認されたコウモリ類(バットディテクターによる調査のため、種の同定はできていない)が挙げられます。この他、捕獲調査においてはチチブコウモリ等、重要性、捕獲個体数とも比較的高い(多い)結果となっています。このことから、平取ダム周辺は、コウモリ類の生息環境としては、良好であると考えられます。しかし、台風後の調査が中止になったことから、H16年度も相調査、重要種調査は継続実施することとしています。

したがって、コウモリ類に関しては相調査・重要種調査において調査を実施することから、「特殊性」という観点でなく相調査・重要種調査で検討していきます。

2-5 移動性

移動性についての注目種としては、陸域においては「ヒグマ」、河川域においては「サクラマス」が挙げられます。

ヒグマに関しては、行動圏が広く調査結果を得にくいことから、次年度相調査・重要種調査の中で検討することとします。

サクラマスに関しては、「生息状況調査」・「産卵床調査」の結果を用いて、影響検討等を行います。

なお、移動性に関しては必ずしも生態系を表現する項目ではないことから、魚類調査(相調査・重要種調査)の中で検討することとします。